

足利小山信用金庫 健康経営宣言

足利小山信用金庫は、役職員やその家族の健康管理を経営的な視点で捉え、戦略的に取り組む「健康経営」を推進します。「健康経営」という視点のもと、これまで以上に職員の健康保持・増進に取り組むこととし、「足利小山信用金庫 健康経営宣言」を策定しました。役職員一人ひとりの健康意識（ヘルスリテラシー）向上のため、組織一丸となり、取り組んでいきます。

足利小山信用金庫 健康経営宣言

足利小山信用金庫は、役職員が心身ともに健康で、能力を最大限発揮できることが、企業や地域社会の発展につながると考えています。これまで取り組んできた健康保持・増進活動をより前進、積極的に行い、職員が生き活きと働くことのできる職場づくりに努めることとともに引き続き地域社会と共に発展していくことを宣言いたします。

2021年4月1日
足利小山信用金庫
理事長 富田 隆

取り組み内容

1. 健康づくりの取り組み

- ・健康診断・人間ドック等の受診率実質 100%の維持と診断後の再検査受診の徹底
ー健康診断・人間ドック受診後の再検査者への補助金制度の推進ー
- ・インフルエンザ予防接種率 90%以上の維持（2020年度 96%）ー補助金支給ー
- ・北関東しんきん健康保険組合と連携した健康増進事業の推進

2. メンタルヘルス対策への取り組み

- ・ストレスチェックの実施
- ・ストレスチェックの集団分析結果を踏まえた職場環境の改善

3. ワークライフバランスの推進

- ・記念日休暇等の制度導入による有給休暇の取得推進
※2019年度有給休暇取得率 56.9%を 2023年度までに 60%以上に引き上げる